

No. 65	平成 3 年 12 月 30 日 発行
ね じ れ ば ね	発行: 日本甲虫学会
	〒658 神戸市東灘区御影山手 2 丁目 19-8 大倉正文 方
	電話: (078) 811 局 2706 番
Dec., 1991	郵便振替口座 大阪 9-39672 番

会 告

林 匡夫博士が去る 3 月末にて永年勤務されました大阪城南女子短期大学を退職され、4 月に同大学の名誉教授に就任されたことを記念して、同博士の記念号を発行する計画をいたしましたところ、多数の会員各位からご投稿をいただきましたことを幹事一同厚く感謝いたします。なお、一部会員の原稿は締切りに間に合わず、記念号に掲載することが出来なかったことは残念に存じます。これ等の原稿は次号に掲載予定ですのでご諒承下さい。

新 入 会 員



住 所 変 更





死 _____ 去 (謹んでご冥福をお祈りします)



退 _____ 会



認 定 退 会

大倉正文氏の喜寿を祝う記念号の発行

本学会創立同人の1人で、創立以来実に47年、それこそ学会事務全般を完全に運営されて来た大倉正文氏が1992年7月24日、満77才をお迎えになります。就いては同氏の長年月にわたる御苦勞に感謝し、その長寿と健康を祝い今後益々の御活躍を祈って、本学会の祝意を表する為、来年12月発行予定の47巻2号をその記念号と致したいと思います。内容は記念論文と同氏に関する思い出のメッセージの2部とし、原稿を募集しますので御賛同の上ふるって御投稿下さい。締切は平成4年8月末、第1頁に大倉氏記念号用と朱書、林 匡夫宛御送り下さい。 (林)

お 詫 び

私事にわたり誠に恐縮ですが、去る9月下旬から約1ヶ月入院いたしておりましたので、林匡夫博士記念号(第46巻第2号)の編集・校正に支障をきたし、発行がおくれたことを深くお詫びいたします。また、林 匡夫幹事も健康を害され11月下旬から暮にかけて入院されておりましたので、同氏の著書目録の一部に頁数の脱漏等不備の点がございしますが、悪しからずご賢察のほどお願い申し上げます。 (大倉)

—— 第 4 7 卷の会費は5, 0 0 0 円です ——

甲虫学評論第 4 7 卷の会費は5, 0 0 0 円です。同封の郵便振替用紙にてなるべく早くご納
入下さるようお願いいたします。